

# 全国の浜から

第12回

## 「貝殻利用と豊かな海づくり研修会」

今年もJF全漁連主催で「貝殻利用と豊かな海づくり研修会」が開催され、3名の講師による貝殻利用に関する講演が行われました。講演後は参加者と活発な意見交換も行われ、充実した研修会となりました。

### ① 漁場整備事業の効果について

(一社) 水産土木建設技術センター長崎支所 漁場開発部漁場開発総括課 課長 石丸 聡 氏



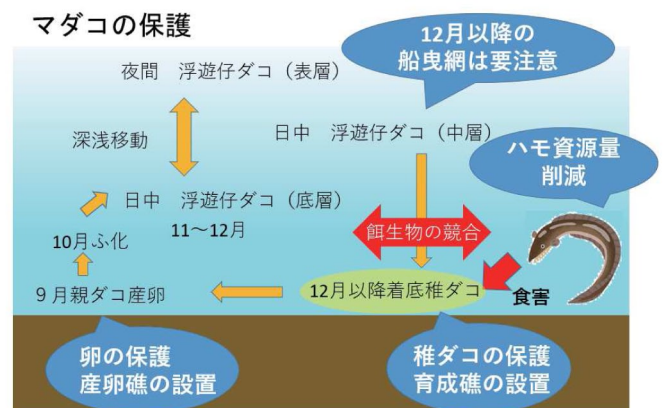
講演の様子（石丸課長）

漁業者の魚礁の利用量の把握を目的とした「魚礁効果診断システム」と、その調査結果を紹介して頂きました。結果では漁業者は魚礁をよく利用しており、何もなかった砂地の海底に広大な魚礁漁場が形成され、多くの漁業者の生計維持に役立っていると説明がありました。質疑応答の中で、「**貝殻魚礁は餌となる動物が発生しやすいことと、構造が複雑なため、イサキが集まりやすい**」とのコメントを頂きました。

### ② マダコのおはなし

愛媛県 農林水産研究所水産研究センター 栽培資源研究所増殖技術室 室長 坂口 秀雄 氏

近年、漁獲が減っているマダコについて、食性や生態についてわかりやすく紹介して頂きました。マダコの保護には、マダコの産卵礁や着底稚ダコの保護礁の設置が有効であるとの説明があり、質疑応答の中でも、**貝殻のような隙間がある場所が稚ダコの着底場所に良い**、とのおはなしもありました。



マダコの保護について（発表資料より抜粋）

### ③ 岡山県下津井地区におけるマダコを増やす取り組みについて

第一田之浦吹上漁業協同組合 代表理事組合長 岡 耕作 氏



講演の様子（岡代表理事組合長）

マダコ資源の減少を危惧した岡山県倉敷市下津井地区の漁業者が、自らタコ魚礁（貝藻くん）を製作・設置し、その効果の検証を行った結果について紹介して頂きました。質疑応答の中で、岡代表理事組合長より「**やりっぱなしは良くない。自分たちの海は自分たちでなんとかしなくてはならない。それが資源の管理だと思ふ**」とのコメントを頂きました。